



内容

- ・就職面接予約会を開催しました！
- ・平成29年度第1回地域連絡調整会議
- ・千葉県生活困窮者実務支援者ネットワーク
- ・さーくる発！就労準備支援事業
- ・自立相談支援の現場から～家計相談～
- ・編集後記

さーくるからの報告①

生活困窮者自立支援事業による 就職面接予約会を開催しました！

平成29年7月26日（水）に【「生きがいをもって働きたい！」を応援します！船橋市生活困窮者自立支援事業による就職面接予約会】を開催し、12名が参加し、盛況のうちに終了しました。

船橋市・船橋公共職業安定所・社会福祉法人生活クラブ（さーくる受託法人）が共催し、船橋市内の食品製造やマンション管理関連の事業所2社に参加をしていただきました。パートタイムからフルタイムまで幅広い求人があり、2社



↑参加者から積極的な質問が出ました。

の事業所についての会社説明のあとで、面接予約会に参加した約6割の方が、面接面接の予約をしていました。

困窮状態になるということは、何らかの事情があり、働くことが難しい場合も多くあります。そうした事情を理解して、今回の就職相談面接会に参加していただいた事業所の方々には大変感謝いたします。

参加事業所は船橋市に住所があり、求職者も船橋市民です。今回の面接会を通して「船橋地域の、雇用を通しての助け合い」を垣間見ることが出来たと思っております。今後もさーくるは、様々な方の就労支援と生活支援を積極的に実施していきたいと思っております。皆様のご協力に感謝しつつ、これからのさーくるを楽しみにしていただきたいと思います！



↑協力事業者からの説明に耳を傾けます。

さーくるからの報告②

生活困窮者自立支援制度の取り組みを発表 平成29年度 第1回地域連絡調整会議

生活困窮者自立支援事業の推進に向け地域連絡調整会議（7月18日西部、7月19日中部、7月20日南部、8月8日東部、8月10日北部）を開催しました。

市内5ブロックで、民生・児童委員、地区社協、医療機関、福祉事業所など、総数100名以上の方が参加され、シンポジウム形式で、船橋市での生活困窮者支援の取り組みについて現状の報告と意見交換を行いました。

船橋市地域福祉課からは、生活困窮者自立支援制度の取り組みと実施状況の報告と、生活困窮の背景にある要因の1つに、相対的貧困率が年々上昇し、格差が拡大しているとの話がありました。

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会からは、就労準備支援事業におけるボランティア活動の実績とボランティア活動を通し就職活動への自信をつけたという事例を紹介いただきました。

株式会社ヒューマン・タッチからは、中学生に対して行っている学習支援の実施状況の報告がありました。また学習支援が挨拶、生活習慣や約束を守るなどの社会性を学ぶ場ともなり、希望する進路に進み、貧困の連鎖を防止することを目的としているという話がありました。

さーくるは、実施している各事業の説明、就労が困難な方への支援の具体的な事例について説明をしました。

地域連絡調整会議を通じ、市内で活躍される皆さんのお力があっての支援であることを痛感しました。今後も顔と顔の見える関係を大切にしながら、船橋における生活困窮者自立支援事業による成熟した地域支援が実現できるよう日々努力したいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。



さーくるからの報告③

「千葉県生活困窮者実務支援者ネットワーク 第3回実務者ミーティング」

平成29年6月25日（日）13時～17時 千葉県弁護士会館（千葉市）

前半は、厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室室長補佐（現：厚生労働省大臣官房審議官医療保険担当）の渡邊由美子氏から、「生活困窮者自立支援のあり方に関する論点整理のための検討会の報告」と、生活困窮者自立支援法の施行から2年間の報告があり、後半は、テーマ別分科会（就労、子ども、居住、ひきこもり、初任者、支援困難事例が参加）が行われました。

就労の分科会では、企業実習や就労体験の場が不足しているとの意見がありました。相談者は働いた経験が少なく、仕事の具体的なイメージを持ちづらい方もいます。就職に至る前段階で、様々な職業を知り、就職活動に臨んでいただけるような取り組みをしていくことの必要性を感じ、今後活かしたいと思いました。



↑前半の講演には96名が参加しました。

さーくる 発！～就労準備支援事業～

就労準備支援セミナーを開催！！



「ここみん」は就労準備のキャラクターです。
4コママンガ「あしたのここみん」は次回再開
までお待ちください。

さーくるの就労準備支援事業を活用して就職活動に向けた練習を積み重ねている方を対象に、平成29年7月26日に筆跡診断士の小山田 香代氏（就職訓練校、キャリアコンサルティングなどで活躍中。）による就労準備支援セミナー（即実践できる！キャリア専門家直伝！筆跡診断セミナー）を中央公民館にて開催しました。

参加者は、日ごろ何気なく書いている文字の書き方ひとつで自分の気持ちや仕事運も変わるという話に、熱心に聞き入り、盛んにメモをとっていました。参加者は、文字を書くという日常的に行うことが就職に影響するとわかり、メモの文字を意識して書いたり、当日持参した履歴書を書き直していました。今後も、座学講習や実習以外にも就労に至るような支援の1つとして、さまざまなテーマを取り上げ、セミナーの開催をしていきたいと考えております。

～参加者の感想～

Aさん：「文字で就職が大きく変わってくるので、履歴書を書くときには気をつけたい」

Bさん：「自分の文字を見ることで自分の今の気持ちが分かるのは、面接時の不安を和らげるのに役立つかもしれない」



↑セミナーに真剣に参加する様子

自立相談支援の現場から ～ 家計相談 ～



平成29年4月より、家計相談支援事業を開始しました。

相談を受けている中で、収入が多い少ないに関わらず、多くの方が、家計の課題を抱えていることがわかり、家計相談の必要性を日々実感しています。

家計相談支援とは、家計や借金に関する相談者の悩みに向き合い、寄り添いながら、相談者自身が現状を理解し、将来に希望をもって生活を再生できるようにしていく支援です。特に家計という側面から、相談者の気づいていない課題や悩み、困りごとの原因の気づきを促し、解決に導き、経済的な自立が図れるよう、生活再生を応援していく事を目指します。

家計の相談は、すぐに結果がでるものではないかもしれませんが、家計を知ること、見直すことは根気のいることだと思いますが、その根気のいる部分に寄り添い、一緒に考えたいと思っています。

支援の流れ

～ 相談事例 ～

- ・多重債務若しくは過剰な債務を抱え、返済が困難になっている。
- ・収入よりも支出が多く、生活費が不足している。
- ・カードに頼って生活や買い物をしており、借金額がわからなくなっている。
- ・収入はあるが、家賃、水道光熱費、給食費、税金などを延滞している。



～ 支援の方法 ～

- ・レシートを集めたり、出納帳を作るようにした。
- ・無駄使いや把握できない支出がないかを確認した。
- ・滞納や債務の支払い方を見直し、必要な窓口で相談をした。
- ・日ごとや週ごとの生活費の予算を決めた。
- ・弁護士等の専門家に相談した。

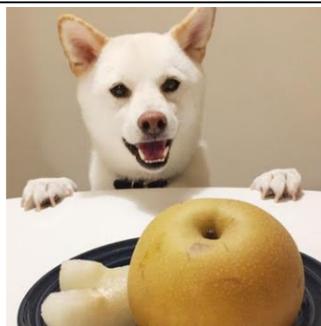


～ 相談の結果 ～

- ・支出を減らそうという気持ちを持てるようになった。
- ・家族ではじめて家計について話し合った。
- ・毎月家計簿をつけることを始めた。
- ・毎月の支出が分かったので、働き方を見直した。
- ・目標額を決めて貯金をするようになった。
- ・タバコやお酒の量を減らして、支出をおさえるようになった。
- ・自炊をしたり、ペットボトルの飲み物をやめて、家でお茶を作って水筒に入れるようになった。



【発行・編集】
 社会福祉法人 生活クラブ
 船橋市委託事業
 船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる (circle)
 所在地 船橋市湊町2-12-4 湊町十二番館ビル4階 401号室
 TEL 047-495-7111 FAX 047-435-7100
 HP <http://www.kazenomura.jp> E-MAIL circle@kazenomura.jp
 ～あなたの尊厳を守ります。～



ふなばしの梨を買いに行きました。我が家の愛犬も、梨を見て目を輝かせていました。甘くみずみずしい梨に、疲れも吹き飛ばすようでした。秋はもうすぐ。健康に気をつけて過ごしたいと思っています。(K)

